

一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会 組合せ基準

I。一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会が主催・主管する各種大会名

- (1) 全日本パラ卓球選手権大会(肢体の部)
- (2) 全日本オープンパラ卓球選手権大会(肢体の部)

II。一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会 国内大会委員会 内規

1. 組合せ基本原則

- (1) 組合せは原則非公開とする。
- (2) 公平なる組合せの下に円滑なる大会運営を目指すことを目的とする。
従って、組合せにおいて同一都道府県、同一チームの選手は可能な限り同じブロックに入らないように抽選により均等に配置される。
- (3) シード選手以外の組合せは公平な組合せを行うために抽選とする。
- (4) 前年度のランキング保持者は、シードされる。
- (5) 各シードの該当位置は、原則として日本卓球ルールに従う。
- (6) 前年度、同一ブロックの選手は、可能な限り同一ブロックで対戦しないよう組み合わせられる。
- (7) 日本肢体不自由者卓球協会が行う大会については、組合せ決定後は公平な状態での一般公開を行う。

III。各大会の試合方法、シード基準及び組み合わせ手順

1. 全日本パラ卓球選手権大会(肢体の部)

1) 試合方法

- ① 各種目とも第1ステージは各グループ3～4名によるリーグ戦。(出場選手数による)
- ② 第2ステージは第1ステージ各グループ1位、2位の者によるトーナメント方式とする。
出場選手数によって第1ステージで終了する種目もある。

2) シード基準(“シード”は第1ステージのリーグ戦表の一番上に記載される者)

- ① 各種目ともシードは前年度、全日本パラ卓球選手権大会(肢体の部) ベスト8(最大8)とする。

3) 組合せ手順(4ブロックの場合)

- ① シード選手をシード基準に配置する。前年度優勝者は第1シード(Aブロック1番目)、2位を第2シード(Bブロック1番目)、3位を第3シード(Cブロック1番目)、4位を第4シード(Dブロック1番目) 第5～8シードは同格とみて抽選する。
- ② 第1ステージは可能な限り同じ都道府県同士、同一チーム同士での対戦とならないよう配慮する。
- ③ 第1ステージ1位、2位は、第2ステージでは反対側の山に入る。

2. 全日本オープンパラ卓球選手権大会(肢体の部)

1) 試合方法

- ①個人戦、団体戦とも第1ステージは各グループ3～4名(チーム)によるリーグ戦。
- ②個人戦の第2ステージは第1ステージ各グループ1位、2位の者によるトーナメント方式とする。
出場選手数によって第1ステージで終了する種目もある。
- ③団体戦の第2ステージは第1ステージ各グループ1位のチームによるトーナメント方式とする。

2) シード基準(“シード”は第1ステージのリーグ戦表の一番上に記載される者)

- ①各種目ともシードは前年度、全日本オープンパラ卓球選手権大会ベスト8(最大8)とする。

3) 組合せ手順(4ブロックの場合)

- ①シード選手をシード基準に配置する。前年度優勝者(チーム)は第1シード(A ブロック1番目)、2位を第2シード(D ブロック1番目)、3位を第3シード(C ブロック1番目)、4位を第4シード(B ブロック1番目)第5～8シードは同格とみて抽選する。
- ② 第1ステージは可能な限り同じ都道府県同士、同一チーム同士での対戦とならないよう配慮する。
- ③ 第1ステージ1位、2位は、第2ステージでは反対側の山に入る。

一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会

国内大会委員会

2022年10月12日改訂